

し、次代を担う子どもへの健やかな環境づくりのため、「子育て応援まちづくり・多世代間交流推進事業」「児童虐待防止対策緊急強化事業」「地域子育て支援拠点環境改善事業」「食育推進事業」「健康増進支援事業」の5事業に取り組みことを計画しています。

## 大腸がん、肝炎ウイルス検査の受検促進

市で、平成20年に亡くなった人の28・2%はがんなどの悪性新生物が原因であり、県平均の27・0%と比較して、その割合は高くなっています。

がんに対する最も有効な対策の一つは早期発見であり、また早期発見による早期治療です。

がん検診受検率向上の一環として、基準年齢に達した市民全員に大腸がん検診の無料クーポンなどを送付し、検診の受検を奨励することにより、がんの早期発見、早期治療を促す体制を構築します。

具体的には、40歳から5歳

刻みで60歳までの市民に対して大腸がん検診の無料クーポンなどを送付し、検診の受検を奨励します。

肝炎についても大腸がん検診と同様に、40歳から5歳刻みで70歳までの肝炎ウイルス検査の未受検の人に対して、肝炎ウイルス検査の受検を勧める個別通知を行い、一層の受検促進を図ります。

市では、平成21年度から受検促進を目的に実施している乳がん・子宮がん検診のクーポン券と同様に、これらの事業に積極的に取り組み、大腸がんや肝炎の早期発見、早期治療を促進します。

## 公営住宅等の長寿命化計画

昨年度、公営住宅等長寿命化計画を策定しました。

計画の期間は、平成23年度～平成32年度の10カ年で、国の指針に基づいて現地調査などを実施し、各団地別の判定結果に基づいて、維持管理、用途廃止、建て替えなどの仕分けを行い、それぞれの団地

の建て替えスケジュールおよび維持管理計画を策定しています。

建て替えが必要と判定された団地は、邑久地域の福山団地、福元団地、山田庄団地、長船地域の福里西村団地Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、井尻団地、東須恵団地、東須恵団地Ⅱ、美和団地、飯井団地、西村団地です。これらの団地については、年次計画を立て、入居者の理解を得ながら、平成25年度以降に順次建て替えを実施していきます。

なお、個別の改善が必要と判定された団地は、長船地域の飯井団地Ⅱおよび牛窓地域の津行団地、中村団地、東町団地などで、これらの団地については、ストック改善事業により改修工事を計画的に進めます。

## 上水道事業

建設改良事業のうち、邑久町尾張地内の石綿管布設替工事、下笠加・虫明地内の配水管布設工事、長船町土師地内

の送水管布設工事および上笠加地内の邑久・長船連絡管布設工事については、設計業務を発注しており、完了後、順次工事を発注します。

また、公共下水道の管渠工事に伴う配水管布設替工事の設計業務については、牛窓処理区の長浜、国塩地内、長船中央処理区の服部、丸山北地内や土師、高橋地内の各工区の発注準備をしています。

福山浄水場の管理棟およびろ過池の耐震補強工事の発注についても準備を進めます。

## 公共下水道事業

長船中央処理区では、福岡住宅地区の324世帯が3月16日に集中浄化槽からの切り替え工事を完了し下水道の利用を始めています。

邑久処理区については、邑久団地の一部が5月1日に供用開始しています。

また、本年度施工予定の牛窓処理区の長浜地内、邑久処理区の福元・下笠加地内、長船中央処理区の服部・土師地



長船中央浄化センター

内のいずれも各一部区域の管渠工事について、発注の準備を進めています。

## 新病院建設

新病院建設に向けては、病院等検討委員会、新病院建設構想検討プロジェクトチームでの構想がまとまりました。財源について国の交付金を活用する場合、平成25年度中の着工が必要となることから、7月1日に新病院準備室を立ち上げる予定です。

また、市民の皆さんに医療福祉、保健を一体的に提供する地域包括ケアシステムの実現を図ります。そして施設た

けでなく、中身も新しい病院として生まれ変わり、将来にわたって市民に愛され続けるよう、運営形態を現在の地方公営企業による運営から地方独立行政法人での運営に改める取り組みを進めていきたいと考えています。

## 病院改革等

病院改革については、「職員の意識改革」「市民に信頼される病院」を目指し、職員一丸となり取り組んでいるところであり、10月末には、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審します。

地域連携に向けて、昨年末から「地域連携パス」などに参入しており、岡山市内の総合病院などからの紹介患者数は増加傾向となっています。

医療機器の更新のために、16列スライスのCTと併せ、画像診断もできる「パックス」を導入します。

また病院IT化に向けて、検査、レントゲン、薬局に部分オーダーリングシステムを導入

入します。平成24年度以降もリハビリ、看護局などに順次導入し、新病院完成時にはフルオーダーリングシステム、そして最終的には電子カルテの導入を予定しています。

昨年度決算は、機能評価受審に伴う業務改善などに取り組んだ成果もあり、来院患者数・入院患者数は横ばいですが、平成21年度決算と比べ約900万円増の約4、900万円の黒字となる見込みです。

## 地域の防災力強化

防火、防災指導については、地区や職場からの依頼により、家庭や職場での火災予防、消火器、消火栓の取扱訓練や風水害時の対策を中心とした指導を行っています。

市民の地震・津波災害への防災対策に対する意識は非常に高まっており、また、多くの皆さんが巨大地震を恐怖に感じていると思います。

今後、発生が懸念されている東南海・南海地震による被

害低減のため、日ごろからの準備、発災時における適切な避難行動やいざという時の自助・共助による助け合いの必要性、さらには、消防団との連携強化および被災想定を見直した指導を行い、地域の防災力の強化に努めたいと考えています。

## 小・中学校での大震災対応

東日本大震災に関して、被災園児児童生徒が市の幼稚園・小学校・中学校へ転入を希望する場合には、柔軟かつ速やかに受け入れるよう国・県から依頼されています。

現在のところ、市への転入を希望する被災園児児童生徒はいませんが、いつでも受け入れることができるよう準備をしています。

また、学校・園の危機管理について再点検をし、園児児童生徒の安全を確保していきます。例えば、各学校・園で行われている避難訓練も、津波や洪水を想定して、一番安全に早く避難できる高い場所

はどこかを校内で検討し、実際に避難する訓練を行うなど、これまで以上に大きな被害を想定して安全を確保するよう努めます。

## 北海道幌加内中学校との交流

市と姉妹縁組を結んでいる北海道幌加内町から、今年も5月11日に幌加内中学校の3年生7名と引率の教諭2名が修学旅行で牛窓中学校を訪問し、牛窓中学校の生徒会役員とレクリエーションや合唱で交流し、お互いの学校紹介などを行いました。

遠い地域の人や物事について知るといっただけでなく、互



貴重な体験となった幌加内中学校との交流

いにコミュニケーション能力を高めたり、人をもてなす心について考えたりするなど、貴重な体験となりました。

## 読書で深まる家庭の絆プロジェクト事業

安心ことも基金「地域子育て創生事業」を活用し、読書で深まる家庭の絆プロジェクト事業として、行政や地域の子ども読書活動に関わる団体など官民が協働して家庭でのふれあい読書活動を推進し、子ども自身の成長はもとより、家庭でのコミュニケーションを増やし、絆を深め、地域や家庭の教育力の向上の一助とすることを目的に、家庭ふれあい読書活動が各家庭において取り組まれるよう、読書週間などの機会を利用して家庭ふれあい読書活動や、絵本作家を招いての啓発講演会などを計画しています。